



東京YMCA

2011 11月号

発行所 公益財団法人東京YMCA 発行人 廣田光司
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。



金賞

「警察官になりたい！お医者さんになりたい！先生になりたい！」

撮影：田所悦子（東陽町語学教育センター職員）
バングラデシュスタディツアーで

地球市民フォトコンテスト

全国YMCAの国際協力・交流活動を、写真を通して知ってもらおうと、今年も「YMCA地球市民国際フォトコンテスト」が行われた。東京YMCAからは4点が入賞した。（受賞作品は、日本YMCA同盟<http://www.ymcajapan.org/photo/index.html>に掲載されている）。

協賛企業賞

撮影者：柳原みずき（にほんで学院職員）
東京YMCAにほんで学院浴衣着付体験



「Live Together」 世界お茶の間会議

世界YMCA/YWCA合同祈禱週に寄せて 若者を育てるYMCAへ

今年の聖句

「あなたは、年が若いということ、だからから軽んじられてはなりません。むしろ、言葉、行動、愛、信仰、純潔の点で、信じる人の模範となきなさい」（『テモテへの手紙1』第4章12節）



アジア太平洋YMCA同盟
総主事

山田 公平

11月13～19日、世界各地のYMCAとYWCAが一堂に祈りの時をもつ。この「世界YMCA/YWCA合同祈禱週」は、毎年、一つのテーマを決めて、世界中の会員が共に考え、心を合わせて祈るものである。今年のテーマは「影響を与える声―若者は権利と正義を呼び求める―」。世界YMCAとYWCAの両会長から寄せられたメッセージ。

11月には、若者が、社会の中で無力で無関心な存在にならないよう、若者の声を聴き、よりよい明日を導く担い手として育てていく必要が繰り返されている。

「若者を育てる」という全世界のYMCAの課題について、山田公平・アジア太平洋YMCA同盟総主事に、執筆をお願いした。

■若者をめぐる社会問題と取り組む

今年の9月にはアジア太平洋YMCA同盟の総会がマレーシアで開かれ、向性を一緒に考える機会です。その中で、これからの社会では若者がどのような存在になるのかというような話がたびたび出ました。

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

（若者の年齢層は社会によっても異なりますが、ここでは18歳から30歳くらいまでの年齢層を若者と規定します。）

世界中で若者の失業率が高くなり、仕事を持つことも、将来どうなっていくのかも、不安を抱える世代が多くなっています。その中で、若者の声や意見が反映され、決定機関である委員会など、若者が参加する機会が、多くなっています。

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

●若者の健康（エイズや麻薬問題）という現象に、関して何ができるか？

●若者の失業という問題に、関して何ができるか？

We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

赤三角

外部の方には、YMCAは実に不思議なところに見えるようです。先日行われた山手センターバザーのこと。年長のワイフメンたちと若いリーダー、スタッフが並んで出店し、メンバーの子どもが自由に買い物したり、リーダーに声をかけたり。そんな様子に、地域の方から「こちらまで楽しくなるわ」と声をかけていただきました。また、スタッフ以外にはボランティアだと思われ、とても驚かれています。確かに、年齢や社会的地位などは関係なく、YMCAの理念のもとに集まれているという「平等」のもとに、一人ひとりが喜びをもって活動する姿は、外から見ると、不思議に思われるかもしれません。しかし、公立の小学校に勤務しているが、子どもたちの人間関係が希薄になっていることを感じます。少子化、地域崩壊、バーチャルの浸透などの要因だけでなく、実は子どもたちが希薄な人間関係の中に逃げ込むことで、自分を守っているのではないかと私は考えています。▼そんな子どもたちの殻をやぶるには、どうしたらいいか。私はその答えは、まさにYMCAの中にあると思っています。存在を認められ、活動の場が与えられ、そして人と人とのつながりを心から楽しみ、喜べる。そのようなYMCAの存在意義は、今、ますます高まっていると思います。が、どうでしょうか。（会員部運営委員 蒔田敏雄）

肯定力を鍛えよう

ありのままが素晴らしい

第42回全国YMCA
リーダー研修会

9月17・19日、東京YMCA野尻キャンプ場で、日本まで19の都市YMCAの本YMCA同盟主催の「第42回全国YMCAリーダー研修会」が東京YMCA主催で開催された。

参加者は、北海道から熊本と総勢109人であった。実行委員長は東京YMCA総主事の廣田光司氏(左記参照)。

基調講演は塩澤一洋氏(成蹊大学法学部教授)で「肯定力を鍛えよう」と題し、講演いただいた

「その子らしく居られる心地良い環境づくりの大切さ」を、秋の山中湖キャンプにおいて、教えてもらいました。

参加したリーダーと、リーダー研修会。今回は普段目にしていないキャンプと、Wンセラーを務めたリーダーOGに感想を聞いた。

参加者の立場で、リーダーは、リーダー研修会。今回は普段目にしていないキャンプと、Wンセラーを務めたリーダーOGに感想を聞いた。

また、生活のところで、生活のグループとは違はリーダーとして参加しました。今回はカウンスラーとして参加しました。



基調講演「肯定力を鍛えよう！」要旨

成蹊大学法学部教授 塩澤一洋氏

私たちの日常生活では自分の意思で物事を決断し義務を負うことがあたり前ではあるが、現代の子ども達(多くは青年期)は「やらされ感」が大変強い傾向が見受けられ、自分で考えて決定することがなかなか出来ない。また、人の欠点や、あらを探る事が多くネガティブな思考が強い。本来、人間としては前に進んで行くことが大切でポジティブに物事を捉え考えたり、表現したりすることで相手を肯定していく環境が望ましい。しかし、それが出来ないこの日本の若者の将来に大いに危機感を感じる。

自分が人を肯定すればするほど相手は自分自身を認めてくれた、受入れてくれたと感じる。ポイントは常に「褒める」。褒めることで笑顔が生まれる。歯が見えるくらい笑う「スマイル歯数」(造語)を増やして行く。すると、気持ちよく会話できる。そこには心地よい雰囲気が生み出される。人に対して優しい心で接することができる。そのような環境をリーダー会やプログラムでも多く作り、対象となる子ども達から受入れられ信頼が増し人間関係が円滑となっていくのではないかと同時にこのことはリーダーにとって、まさに現代の若者に足りない一面である「自分で考え、行動し、自分の言葉で表現できる」人格形成を作る上での良き成長のきっかけとなるのではないかと考えている。(編集 佐藤信也)



執筆者のみなさん。左から、大田さん、黒澤さん、安藤さん、常定さん

生活を通しての気づき、新発見

西東京センターリーダー 安藤絵理奈
野尻での生活は、一言でいうと温かった。たった2日半で素敵な空間が作られたのは、みんなが周りの人の存在を肯定し、ありのままを受け入れていたからだと思う。初めて会う人と生活を共にするのは緊張や不安があるが、一人ひとりが相手に興味を持ち、たくさん関わりを持とうと前向きな気持ちでいたから、安心して輪に入っていた。

仲間との関係作り学べた貴重な体験

江東センターリーダー 黒澤 利恵
今回は4つのアクティビティが設けられていました。その中でも私はトラディショナルスポーツを選び、スウェーデンのクラブと全国リーダー研修会に私

「人との関わり」再確認

リーダーOG 常定 三奈子
8年前、広島で開催された全国リーダー研修会に私

発達障がい児対象 秋の山中湖キャンプ

個性を存分に発揮して 三菱商事助成

発達障がい児を対象とした「三菱商事」東京YMCA秋の山中湖キャンプ

このキャンプは、そんな子どもたちが気持ちを自由に表現し、他者に対する信頼と自分に対する自信を育てて欲しいと願ってプログラムが組まれている。あらかじめ用意されたプログラムに子どもが関心をもち、積極的に参加している。切替えることもする。

子ども達の多様なニーズに合わせるため、東京YMCA各センターから35人のボランティアリーダーと、秋の山中湖キャンプにおいて、教えてもらいました。

また別の子どもは、スタッフが前に立ってアナウンスしている様々な特徴を活かして、いきいきと過ごせる環境づくりを大切にしていきたいと思います。

心からの「笑顔」を願う

会員 中内秀子
11月1日、小春日和の「東陽町Yわい歌の広場」のボランティア5名、スタッフ3名が石巻市を訪れ、仮設住宅に住む高齢者の方々(震災後に生まれた子ども)と「歌の広場」を開催。約40名の方が足を運んで下さり、楽しい会を行うことが出来ました。

※「歌の会」は昭和の唱歌や童謡を歌う会で、南センター、町田YMCA、山手センター、東陽町センター等毎月行われている。

「歌の会」を石巻で展開



仮設住宅に歌の輪広げて



震災発生から半年以上が経ち、東京YMCAが支援を続けている石巻市でも、避難所生活を続けてこれたばかりの方々が仮設住宅に移った。しかし仮設住宅では、大きな不安を抱えて新たな生活をスタートされる方が少なくない。数ある不安の中でも特に、仮設住宅が抽選によって割り当てられるため、隣近所の住民との関係性に対する不安を訴える方が多い。そこで仮設住宅住民の方々が集まり、コミュニティ作りのきっかけとなるようにと、東京YMCAのコミュニティ活動として毎月都内で行っている「歌の会」を石巻市内の仮設住宅集会所で行った。

後、石巻でのプログラムをどうしていくか。大事なことは「継続」することです。石巻の復興は簡単なものではなく、多くの方が大変な生活を強いられ、精神的な支援が必要です。現地の声を聞き、長期的な支援が必要だと感じ、雲ひとつない青空の中にあった巨大なガレキの山を見ながら、震災にあわれた方々の心からの「笑顔」を早く見たい、そう思った一日でした。

いんぷおめーしょん

INFORMATION

インフォメーション

■早天祈祷会■

日 時：12月1日(木)7:00～8:30
奨励者：平池芳樹氏
(日本基督教団三鷹教会牧師)
会 場：山手センター
朝食代：500円
お問合せ：会員部
(Tel. 03-3615-5568)

■中国語の聖書に親しむ会■

日 時：12月12日(月)18:30～20:30
会 場：山手センター
指 導：仲田達男氏(元財団理事長)
参加費：無 料
お問合せ：会員部
(Tel 03-3615-5568)

■午 餐 会■

＜文化講演会－昼食をともに＞
日 時：12月14日(水)12:00～13:30
テーマ：東方に輝く星
卓話者：関田寛雄氏
(日本基督教団神奈川教区巡回牧師)
会 場：東京大学YMCA
(東京メトロ南北線東大前駅)
参加費：3,000円(食事なし1,500円)
お申込み：賛助会事務局
(Tel 03-3615-5568)

■A S C Aクラス講演会■

発達障がいのある子どもの自立・就労のための支援について考える
＊チャリティ－ラン益金より助成
発達障がいのある子ども達と関わる大人なら誰しも一度は考えるこのテーマについて、実際に支援をしている先生方と一緒に考えてみます。
日 時：11月27日(日)13:30～15:30
会 場：社会体育・保育専門学校2階
講 師：
・伊藤琢也氏(川崎市総合教育センター特別支援教育センター指導主事)
・日高浩一氏(東京都立水元特別支援学校 主幹教諭)
・金岡水帆子氏(川崎市公立中学校スクールカウンセラー)
対 象：教職員、保護者、一般
参加費：500円
お問合せ：東陽町ウエルネスセンター
(Tel 03-3615-5566)

■l i b yシンポジウム■

『居場所と貧困と労働』
働けないと生きてちゃいけないのかな
＊日本郵便年賀寄付金配分事業
「はたらく」とは、本当はどんなことなのか。居場所、医療、教育、貧困の分野で活躍されている方々と一緒に考え直してみます。
日 時：12月11日(日) 13～16時
シンポジスト：
・石川憲彦氏(児童精神科・小児科医)
・西野博之氏(NPO法人フリースペースたまり場理事長ほか)
・中村あずさ氏(世界の医療団)
場 所：早稲田奉仕園
参加費：無料
お問合せ：l i b y (リピー)
(Tel. 03-5988-7832)

■親と子のハーモニーコンサート■

こどもたちといっしょに本物の音楽を
0歳児も一緒に楽しめるコンサートです。益金の一部は東日本大震災で被災した子どもたちに寄付します。
演奏者：井上雅代(チェロ)
泉 貴子(ソプラノ)
井上雅人(バリトン)
泉 博子(ピアノ)
曲 目：“愛の挨拶(エルガー)”
“闘牛士の歌(オペラ「カルメン)」” クリスマスソングほか
日 時：12月10日(土)14:00開演
会 場：玉川聖学院谷口ホール
東急東横線・大井町線 自由が丘駅
入場料：大人(中学生以上)1,500円
子ども(0歳～小学生)無料
申込み：チャイルドケアセンター
Tel：03-3722-4158(平日10-18時)

■第6回教育シンポジウム■

＜愛着を深めると
子育てはもっと楽しくなる＞
“わが子への愛着を深める”とはいったいどのようなことなのか、専門家にお話をいただきます。
日 時：1月21日(土)13:30～16:30
会 場：しのめYMCAこども園
講演者：ヘネシー澄子氏
(東京福祉大学名誉教授)
参加費：無 料
※託児あり(1人500円 6ヶ月～2歳)
お問合せ：会員部
(Tel 03-3615-5568)

2011年9月新入・継続会員 新入会員 2名 継続会員 46名 会員総数 832名 (センター別、敬称略)									
◆会員部									
【新入】北城格太郎									
【継続】安藤喜恵子									
上原 充 勝田 輝昭									
金森 一雄 窪田 とき									
香西加奈子 齋藤 昌男									
寒川 真琴 鈴木 馨									
諏訪 治邦 鶴見 信男									
富樫紀代美 堀内 一									
西角 幸治 山田 勲									
渡辺 章									
◆江東センター									
【継続】小松 重雄									
池内 秀太 菅原 陽子									
篠田 秀樹 菅原 陽子									
山崎 常久									
◆山手センター									
【継続】浅羽俊一郎									
青鹿 知子									
CAUTIE OCADA									
蔵知 浩 鈴木田祐子									
中奥 彰子 林 恵子									
廣田 康人 星野 達雄									
◆西東京センター									
【継続】久保田貞視									
笠利 和彦 田中 博之									
塩山 泰史									
◆南センター									
【継続】本田 真也									
福田 一									
宮内ふみ子									
◆杉並センター									
【継続】池谷 泉									
◆東陽町センター									
【継続】杉田 裕樹									
小林 和弘 長谷川正雄									
豊田 富佳									
◆山中湖センター									
【新入】*複数登録									
谷治 英俊 菰渕 光彦									
◆上信越野外活動センター									
【継続】鈴木 順子									
佐々木直美									
◆社会体育・保育専門学校									
【継続】岩本 圭史									